

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 24 日

評価対象事業		評価者	市民相談課	佐藤 雅也
経企-14 建築等紛争調整事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	市民相談課
総合計画上の位置付け		分野	市民自治	施策の方針
			市民自治	
		関連課		

1 事業の目的

2 平成26年度に実施した事業の概要

対象	市民等	近隣での建築等に係る紛争の解決に資するため、鎌倉市建築等紛争相談員が相談による紛争の調整を行った。
意図	建築等に係る紛争の予防及び調整により、良好な近隣関係の保持を図るため	
効果	建築等に伴う紛争を予防し、良好な近隣関係を保持し、安全で快適な生活が送れるようにする	

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	1,879	決算値(千円)	1,690	/
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	1,879	一般財源	1,690	
事業経費運営	人員配置数	1.0	人員配置数	1.0	/
	人件費(千円)	7,620	人件費(千円)	7,379	
	総事業費(千円)	9,499	総事業費(千円)	9,069	
	市民1人当りの経費(円)	54	市民1人当りの経費(円)	51	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	近隣住民からの要望等が複雑、多様化していることや問合せ件数の増加により、対応に時間を要している。		
課題解決のために行った平成26年度の取組	当事者間で話し合うことにより解決していくことから、事業者からの事前相談の段階で条例の趣旨の説明を行い、紛争の未然防止に努めるよう啓発した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決	
未解決の課題 新たな課題	建築等に対する近隣住民や周辺住民からの要望等は複雑多様化しているため、調整に多くの時間を要することになる。住民からの問い合わせ等も増加し、条例の趣旨、手続きなどの説明、対応に時間を要する。		
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	市民ニーズに対応できていると考えられるため、現状維持とした。当面は現状のまま取り組むこととし、相談件数の増加、あつせん・調停の対応が生じた場合には充実又は拡大する必要があると思われる。
総評	建築等に対する要望等が複雑多様化しているため、相談に対する対応について慎重に取り組む必要があると考えられる。相談内容によっては、他課や他市と連携し、情報共有を行いながら、住民からの相談の解決の導きとなるように柔軟に対応していく。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	上段;建築紛争相談件数(平成24年度)、下段;人口(平成24年4月1日現在)							
団体名	鎌倉市	相模原市	茅ヶ崎市	大和市	海老名市			
他市実績	15	19	1	25	0			
	174,161	718,695	235,903	230,439	128,157			

比較事項	上段;相談実施日(未記入;日中、P:午後のみ)、下段;人口(平成24年4月1日現在)							
団体名	鎌倉市	相模原市	茅ヶ崎市	大和市	海老名市			
他市実績	月・木・第3水	月～金	月・木	第2水:それ以外 は職員が対応	第1月(P)			
	174,161	718,695	235,903	230,439	128,157			

比較事項								
団体名	鎌倉市	相模原市	茅ヶ崎市	大和市	海老名市			
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	他市と比較して相談日数が多いことから、多種多様化する相談に対応できる状態である。各市の建築紛争相談件数を各市の人口で除することにより算出した人口一人当たりの利用割合については、本市は0.01%であり、近隣市に比較し高い割合となっている。							
------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	あっせん若しくは調停を行った回数					単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
あっせんまたは調停を行うには、時間を要し、当事者側に負担となることから、相談の範囲で対応できるように努めるため	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	実績値	0.0								
	達成率	100.0%								

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										
-------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---